



HEMS基板セット

型名 VE-KS-2


工事説明書

安全上の注意(必ずお守りください)

- 本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

 警告	人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	人が軽傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容です。

- お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	実行 「しなければならない」内容です。
--	------------------------

警告

法令や工事説明書に従う (火災・感電・水漏れの原因)

- 電気設備に関する技術基準・内線規程などに従い、関係する法・条例などを遵守してください。



注意

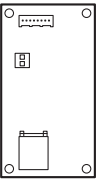
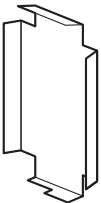

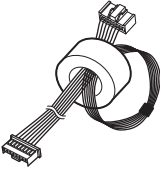


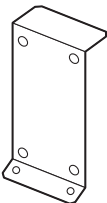

- HEMS基板を正しく取付けていただくためにこの「工事説明書」をよくお読みの上、指定された工事を行ってください。
- 金属部の端面でけがをしないように注意してください。
- 作業時は手袋などの保護具を着用してください。けがの原因になることがあります。
- 設置工事は、ブレーカを「切」にしてから行ってください。
HEMS基板や機器が故障する原因になります。



- この工事説明書は工事終了後、必ずお客様にお渡しください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

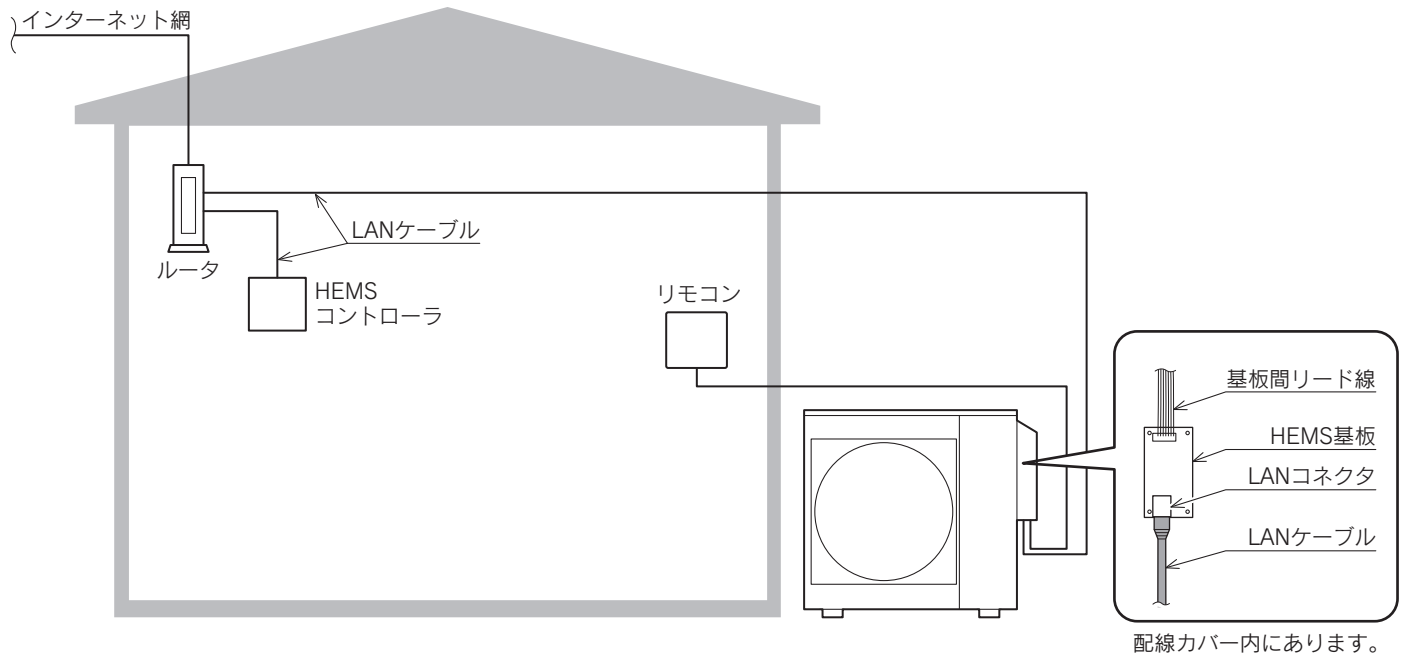
部品の確認

- 梱包されている部品に不足がないことを確認してください。

							
HEMS基板	防虫カバー	PCBサポート (4個)	基板間リード線	コードクリップ	ねじ(3本)	HEMS基板 取付具	工事説明書

接 続 例

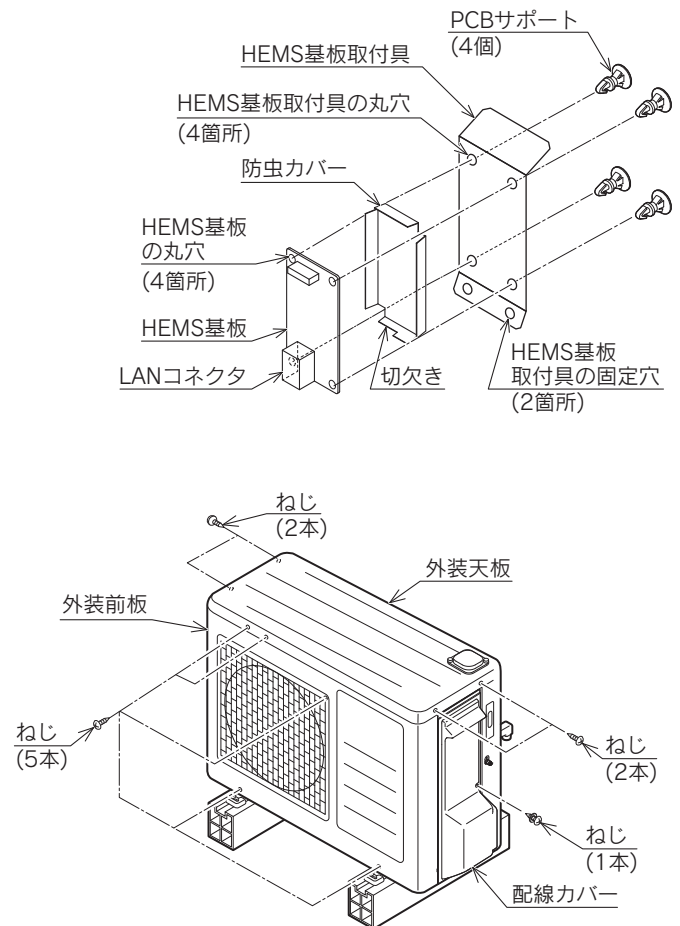
●LANケーブル、ルータの手配はHEMSコントローラー側の作業です。



設 置 工 事

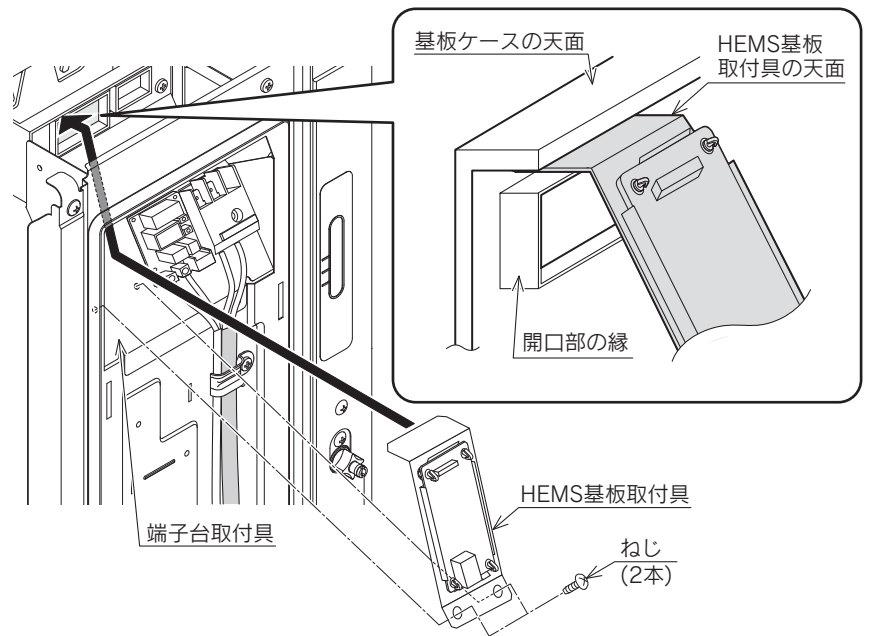
AEYC-03シリーズ・AEYC-06シリーズ・AEYH-05シリーズ・AEYH-06シリーズの場合

1. ブレーカを「切」にします。
2. PCBサポート(4個)をHEMS基板取付具の丸穴(4箇所)に図のように差し込みます。
差し込む方向を間違えるとHEMS基板が取付けられませんので注意してください。
3. 防虫カバーにHEMS基板をはめ込みます。
HEMS基板のLANコネクタと防虫カバーの切欠きが下側になるようにします。
4. HEMS基板の四隅の丸穴をPCBサポートの突起部に差し込みます。
HEMS基板取付具の固定穴(2箇所)が下側になるようにしてください。
防虫カバーがHEMS基板の四辺を覆っていることを確認してください。
5. 外装天板のねじ(左右各2本)と配線カバーのねじ(1本)をはずし、外装天板と配線カバーを取りはずします。
6. 外装前板のねじ(5本)をはずし、外装前板を取りはずします。



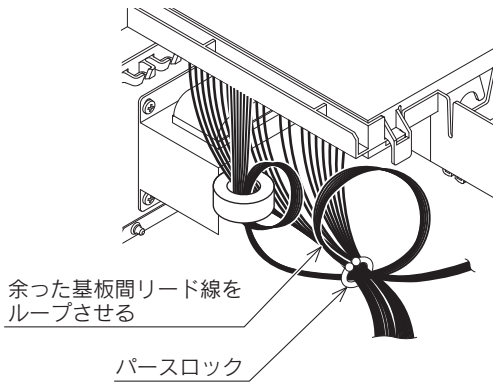
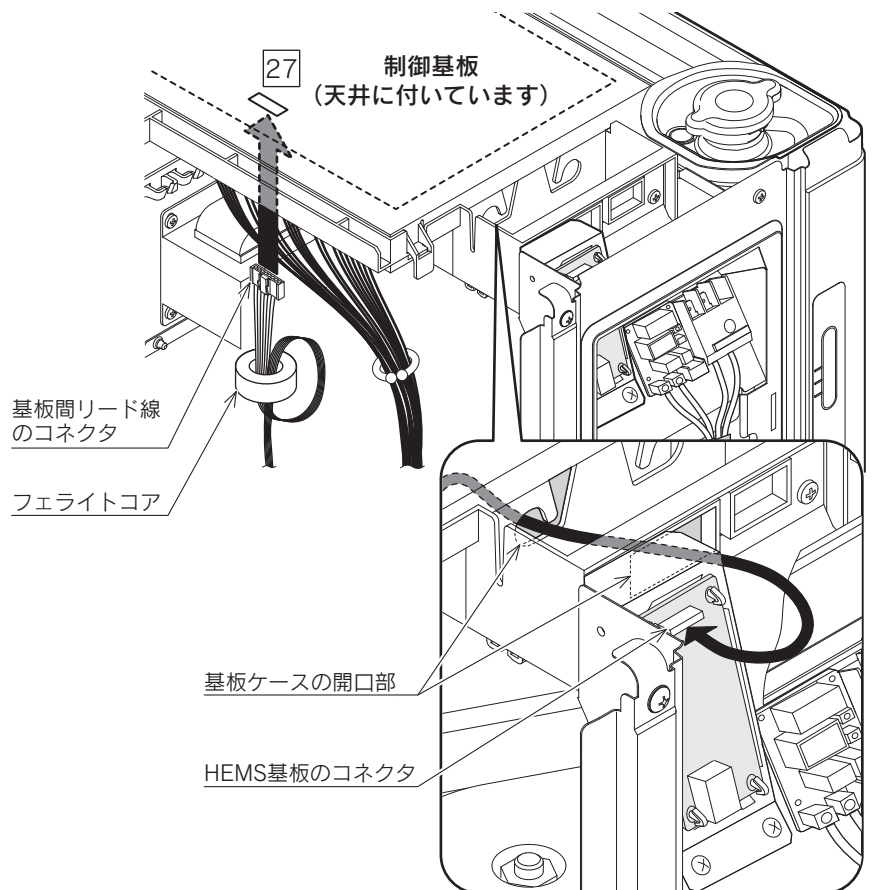
設置工事

7. 図のようにHEMS基板取付具の天面を基板ケースの天面と開口部の縁の間に差し込み、端子台取付具にねじ(2本)で固定します。



8. 付属の基板間リード線のフェライトコアに近い方のコネクタを、機器の制御基板のコネクタ [27] に差し込みます。
基板へ必要以上に強い力を加わえないように注意してください。

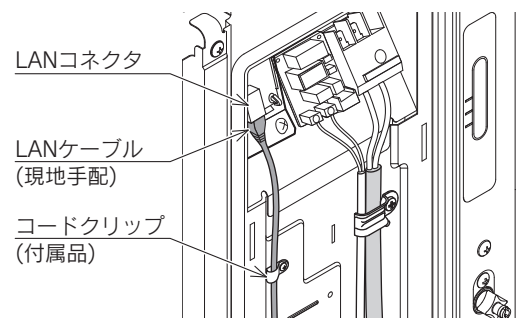
9. 基板間リード線の反対側のコネクタを基板ケースの開口部を通してHEMS基板のコネクタに差し込みます。
余ったリード線はループさせて、他のリード線を結束しているパースロックで固定してください。



10. ルーターに接続したLANケーブル(現地手配)をHEMS基板のLANコネクタに差し込みます。
LANケーブルのツメは奥側にします。

11. 付属のコードクリップでLANケーブルを固定します。
必ず付属のコードクリップを使用してください。

12. ブレーカを「入」にします。

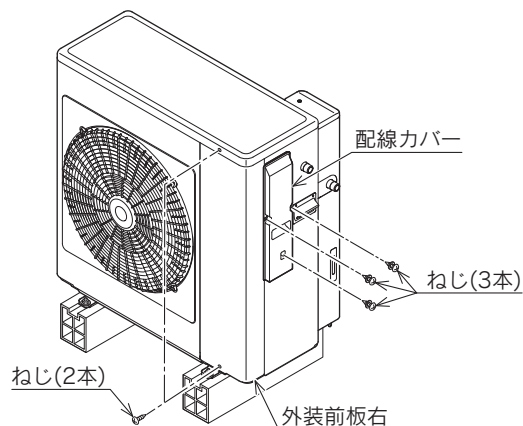


●「HEMSの接続設定」(6ページ)を行ってください。

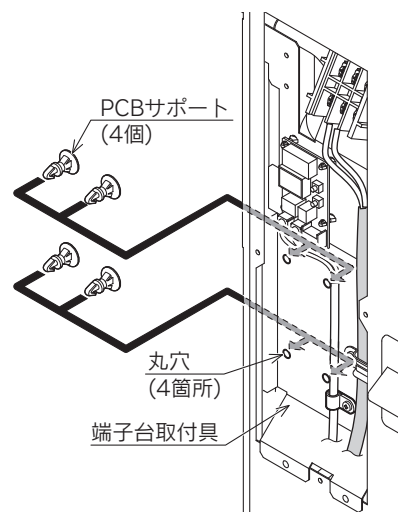
設置工事

AEYC-10シリーズの場合 付属のHEMS基板取付具は使用しません。

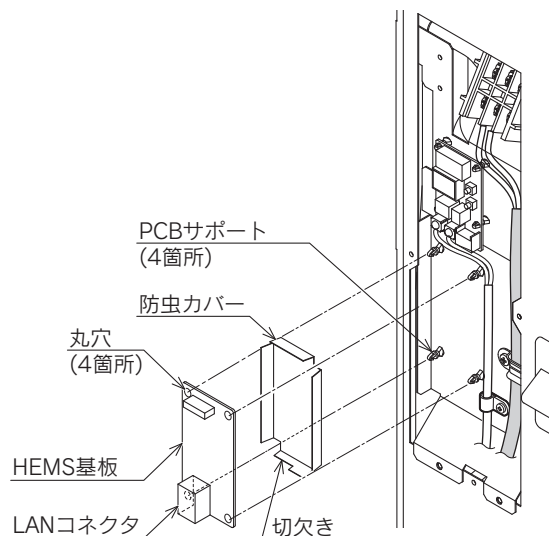
1. ブレーカを「切」にします。
2. 外装前板右のねじ(2本)をはずして、外装前板右を取りはずします。
3. 配線カバーのねじ(3本)をはずして、配線カバーを取りはずします。



4. PCBサポート(4個)を端子台取付具の丸穴(4箇所)に裏側から差し込みます。
手前側から差し込むとHEMS基板が取付けられませんので注意してください。

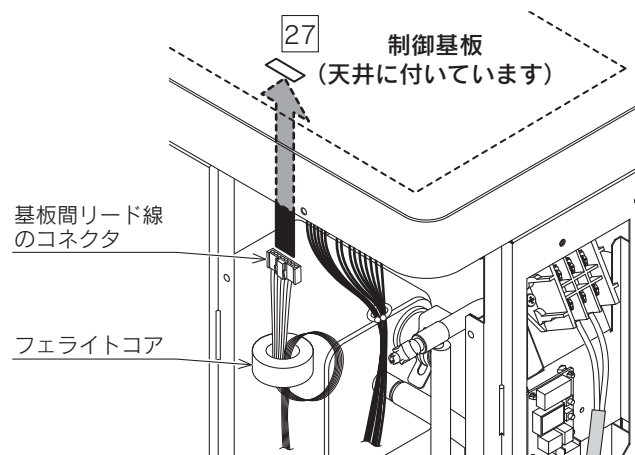


5. 防虫カバーにHEMS基板をはめ込みます。
HEMS基板のLANコネクタと防虫カバーの切欠きが下側になるようにします。
6. HEMS基板の四隅の丸穴をPCBサポートの突起部に差し込みます。
防虫カバーがHEMS基板の四辺を覆っていることを確認してください。

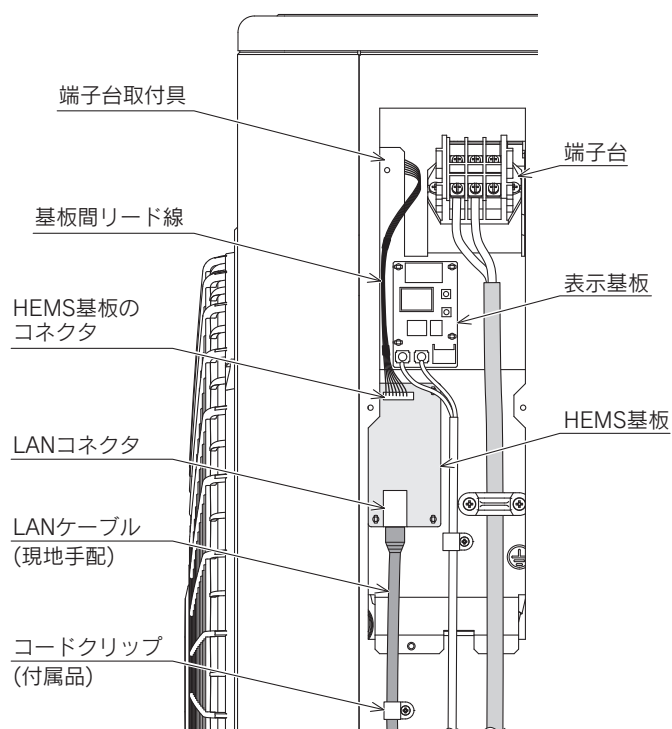
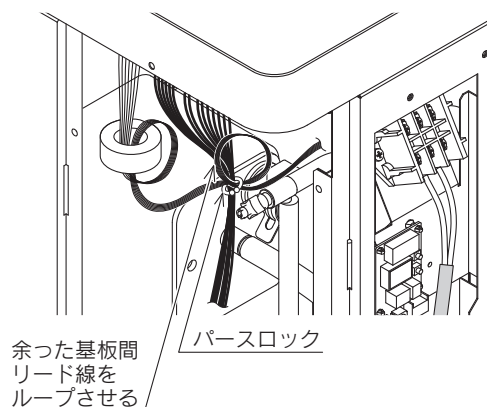


設置工事

7. 付属の基板間リード線のフェライトコアに近い方のコネクタを、機器の制御基板のコネクタ 27 に差し込みます。
基板へ必要以上に強い力を加わえないように注意してください。



8. 基板間リード線の反対側のコネクタを端子台と端子台取付具の間から取出し、HEMS基板のコネクタに差し込みます。
基板間リード線は表示基板の左側を沿わせてください。余ったリード線はループさせて、他のリード線を結束しているパースロックで固定してください。



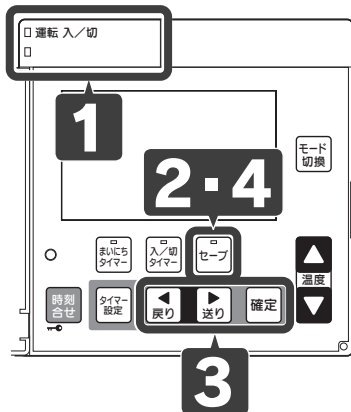
9. ルーターに接続したLANケーブル(現地手配)をHEMS基板のLANコネクタに差し込みます。
LANケーブルのツメは奥側にします。
10. 付属のコードクリップでLANケーブルを固定します。
必ず付属のコードクリップを使用してください。
11. ブレーカを「入」にします。

●「HEMSの接続設定」(6ページ)を行ってください。

HEMS接続の設定

- リモコンでHEMS接続の設定を行います。(リモコンの取扱説明書も参照してください。)
- お買い求め時は設定が「oFF」または「無効」(接続なし)になっていますので、「on」または「有効」(接続あり)に変更します。

■CMR-2612・2630の場合



イラストはCMR-2612です。
機種によりスイッチの配置が
異なります。

1 運転入/切 を押して「切」にする

※運転入/切スイッチが「入」のとき

2 セーブ を約5秒間押す

- 画面右下に「oFF」を表示します。



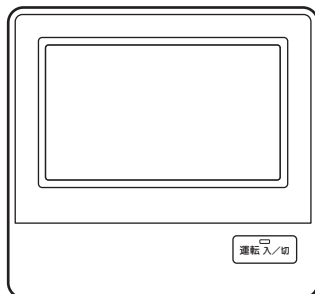
3 ◀ または ▶ で「on」を選び を押す



4 セーブ を約5秒間押す

- 元の表示に戻ります。

■CMR-3102VMの場合



「かんたん画面」の場合は、 を押して「標準画面」にしてください。
メニュー を表示していない場合は、> を押して表示させてください。

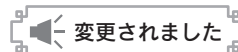
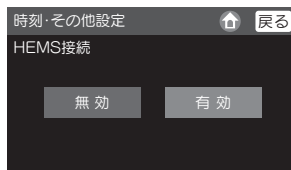
1 を押す

2 「時刻・その他設定」を押す

3 「HEMS接続」を押す

- 「HEMS接続」を確認してください。
- 変更しない場合はそのまま を押してください。

4 を押す



お知らせ

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- HEMS設定に関する内容は、HEMSコントローラーの取扱説明書を参照してください。
- 設定を途中でやめる場合はホームスイッチを押してください。もとの画面に戻ります。


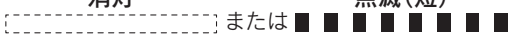
を押すと「時刻・その他の設定」の内容選択に戻り、他の項目を続けて設定できます。

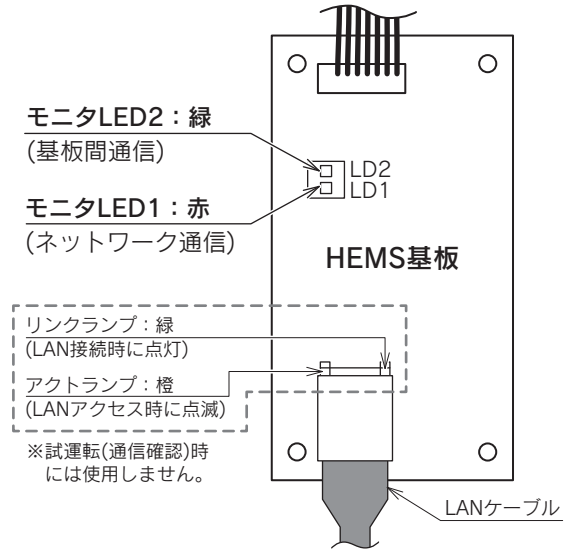
を押すともとの画面に戻ります。
(約40秒間操作しない場合ももとの画面に戻ります。)

試運転(通信確認)

1. ブレーカを「入」にします。
 モニタLED1、2が「初期通信状態」になります。



初期通信状態

モニタLED2	緑	点滅(長)  (2秒点灯/0.5秒消灯)
モニタLED1	赤	消灯 または 点滅(短)  (消灯) (0.5秒点灯/0.5秒消灯)



2. ブレーカを「入」にして2分以上経過後、モニタLED1、2を確認します。
 モニタLED1、2が「正常状態」になっていれば、試運転(通信確認)は終了です。

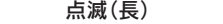

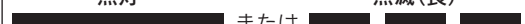
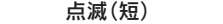
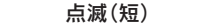



正常状態

モニタLED2	緑	点灯  (連続)
モニタLED1	赤	消灯  (消灯)

※ブレーカを「入」にして約1分以上経過後、モニタLED1、2が「正常状態」にならない場合は試運転異常です。
 「試運転(通信確認)異常の場合」の確認・処置に従って対応してください。

3. 配線カバーや外装を元通りに取付けます。

試運転(通信確認)異常の場合

LED色	モニタLEDの点灯・点滅周期	説明	確認・処置
緑	点滅(長)  (2秒点灯/0.5秒消灯)	初期通信状態	●リモコンで「HEMS接続の設定」が「on」または「有効」になっていることを確認してください。
赤	消灯 または 点滅(短)  (消灯) (0.5秒点灯/0.5秒消灯)		
緑	点灯 または 点滅(長)  (連続) (2秒点灯/0.5秒消灯)	ネットワーク異常	●LANケーブルがしっかりと挿入されていること、ルータが設置され電源が入っていることを確認してください。またLANケーブルを抜き差ししてください。ルータの電源を「入」にしたときは、ルータの起動が完了するのを待ち、再度HEMS基板のLANコネクタからLANケーブルを抜き差ししてください。 (※LANケーブル未接続またはルータが未設置、ルータ電源が「切」の場合はこの表示になります。)
赤	点滅(短)  (0.5秒点灯/0.5秒消灯)		
緑	点滅(短)  (0.5秒点灯/0.5秒消灯)	エラー停止	●基板間の通信に失敗しました。ブレーカを「切」にし、基板間リード線がコネクタにしっかりと差し込まれていることを確認してください。
赤	点灯  (連続)		
緑	消灯  (消灯)	非動作	●ブレーカが「入」になっていること、基板間リード線がコネクタにしっかりと差し込まれていることを確認してください。
赤	消灯  (消灯)		

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所

CHOFU

本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 TEL(083)248-1111
FAX(083)248-1906